

東京慈恵会医科大学活動報告

概略

平成17年度に、本学における漢方医学教育の充実を目的に愛宕漢方医学研究会を発足させた。この研究会には各科の責任者が参加し、教育機関である大学としての漢方教育のあり方について、大学や病院の組織を越えた検討の展開が期待できる体制をとっている。

組織構成

1) 愛宕漢方医学研究会

代表世話人 落合 和徳

附属病院副院長・産婦人科学教授

顧問 栗原 敏 理事長・学長

顧問 石川 友章 薬理学客員教授

事務局 法橋 建 総合診療部教授

卒後・院内漢方教育担当

神谷 直樹 産婦人科学教授

2) 附属病院総合診療部漢方外来

診療医長 石川 友章

診療医長 萬谷 直樹

リサーチレジデント 古賀 実芳

専門医研修 田部井 功

小林 康隆

荏原 太

森山 義和

長谷川 望

高橋 英吾

森 恵莉

荏原 千登里

安田 千穂

教育と臨床

愛宕漢方医学研究会では、漢方医学の啓発と漢方医学教育を担う人材の育成を視野に入れ、学外から講師を招き学内外を対象とした研究会を年2回、学内医師・学生を対象とした勉強会を年6回開催している。本年度は継続して参加する熱心な者が増加し、また、さらに回数や内容に対する要望もあり、学内での漢方診療の認識と必要性が高まってきていることを実感している。

一方、臨床実地研修の場として平成18年11月に総合診療部に設置した漢方専門外来は、現在も受付を紹介患者に限定し週2～4回午後のみ外来という診療体勢を変えていないが、患者や医師からの需要の増加に伴い臨時枠を増設する場合があります。専門外来担当医師の育成と人材発掘が早急な課題となっている。治療で使用する漢方薬は、生

薬による煎じ薬とエキス剤いずれも処方可能で、保険診療のみ行っている。

なお、当院は日本東洋医学会専門医制度研修指定施設に登録されており、学内外の医師の見学、症例検討会や勉強会への参加など専門医研修を行っている。

また院内では、独自に東洋医学を取り入れている皮膚科・ペインクリニックや、小児科など他の診療科との連携治療も増加している。悪性腫瘍患者の治療相談も増加する傾向にある。

今後の漢方医学教育と臨床・研究を見据えた組織編成について、愛宕漢方医学研究会を中心として検討されている。

学生教育

医学部医学科では、平成20年度から従来の講座の枠を越えた教育内容をユニット化したカリキュラム編成がされ、漢方医学は3年次に「和漢薬概論」として集中して講義された。講座責任者の木村直史薬理学教授のもと、石川友章薬理学客員教授による「漢方医学」1講義90分×4講義、北原雅樹麻酔科教授による「痛みと和漢薬」が2講義行われた。来年度の講義責任者は、愛宕漢方研究会代表世話人で日本東洋医学会指導医である落合和徳産婦人科学教授にバトンタッチされる。

研究

落合和徳教授の指導の下、古賀が漢方診断を用いた西洋医学治療の再評価について臨床研究を行っている。

学会活動

学内啓蒙の一環として、学内の研究発表の場である成医会にて、漢方専門外来の現状について古賀が報告した。

平成21年に行われる第60回日本東洋医学会学術総会は、石川友章客員教授が会頭、落合和徳教授が準備委員長の重責を担う。大学はできうる協力を惜しまない。

論文

- 1) 古賀実芳、「<症例報告1>陽虚証のアトピー性皮膚炎の2例」、温知会会報No.59, 2008号夏期号、p13-17
- 2) 古賀実芳、「湿の治療3, 高齢女性の内湿に苓

甘姜味辛夏仁湯が有効であった2例」、温知会
会報No.60, 2008冬期号、p19-22

学会発表

- 1) 藤井泰志、木村容子、萬谷直樹、佐藤弘：感
染を繰り返していた慢性良性好中球減少症の
患児の1例。第65回関東甲信越支部学術総会。
山梨。2008年10月
- 2) 古賀実芳、萬谷直樹、石川友章、法橋 建、
落合和徳、「総合診療部漢方外来の現状報告
と今後の課題」、成医会、2008.10.9-10, 東
京

講演

- 1) 萬谷直樹：医師のための漢方勉強会、「症
状・症候から考える漢方治療」、横浜、
2008.3.11
- 2) 萬谷直樹：医師のための漢方勉強会、「日常
診療に役立つ重要方剤を理解する」、横浜、
2008.5.13
- 3) 萬谷直樹：医師のための漢方勉強会、「有効
例と古典から学ぶ漢方処方」、横浜、
2008.7.8
- 4) 萬谷直樹：医師のための漢方勉強会、「口
訣・伝承を正しく理解する」、横浜、
2008.9.9
- 5) 古賀実芳、平成20年10月12日15:25～16:55、
東京漢方教育センター2008年度講座「更年期
うつ」東京漢方教育センター主催、早稲田国
際会議場
- 6) 古賀実芳、平成20年10月24日、愛宕漢方勉強
会・第1回「冷え」、外来B棟6階セミナーB、
愛宕漢方医学研究会主催
- 7) 萬谷直樹：医師のための漢方勉強会、「現代
における領域別漢方治療」、横浜、
2008.11.11
- 8) 古賀実芳、平成20年11月14日、愛宕漢方勉強
会・第2回「胃腸虚弱」、外来B棟6階セミナー
B、愛宕漢方医学研究会主催
- 9) 古賀実芳、平成20年11月26日19:30～21:
00、玉川医師会学術講演会「日常診療にすぐ
に使える漢方薬」- 高齢者医療の漢方治療
-、玉川医師会館3階会議室、社団法人玉川医
師会・株式会社ツムラ共催
- 10) 古賀実芳、平成20年12月19日、愛宕漢方勉強
会・第3回「風邪とインフルエンザ」、外来
B棟6階セミナーA、愛宕漢方医学研究会主催
- 11) 古賀実芳、平成21年1月23日、愛宕漢方勉強
会・第4回「インフルエンザ 症例検討」、外
来B棟6階セミナーA、愛宕漢方医学研究会主催

- 12) 古賀実芳、平成21年3月27日、愛宕漢方勉強
会・第5回「便秘について考える」、外来B棟6
階セミナーA、愛宕漢方医学研究会主催

その他（取材、原稿など）

- 1) 萬谷直樹：汗とからだの臭いの決定版対策を
見つけました。クロワッサンプレミアム 8 月
号、マガジンハウス：164- 171、2008
- 2) 古賀実芳、医療健康の総合情報サイト『ここ
カラダ』 「冬のお悩み特集」
[http://www.cocokarada.jp/season/winter/
index.html](http://www.cocokarada.jp/season/winter/index.html)、2008.10.30
- 3) 古賀実芳、「補中益気湯」p40-41, 「当帰飲
子」p56-57, 「防風通聖散」p64-65, 「柴
胡加竜骨牡蛎湯」p104, 「加味帰脾湯」p
112、日経ヘルス別冊漢方バイブルBPムック
2008年12月20日、日経BP社2008
- 4) 古賀実芳、ウェルネスモバイルコンテンツ・
ヘルスチェック監修